

小学校【図画工作科】「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善

岐阜教育事務所

1 主体的・対話的で深い学び（小学校学習指導要領解説 総則編 P77一部抜粋）

- 「主体的な学び」… 学ぶことに興味や関心を持ち、自己のキャリア形成の方向性と関連付けながら、見通しをもって粘り強く取り組み、自己の学習活動を振り返って次につなげる。
- 「対話的な学び」… 子供同士の協働、教職員や地域の人との対話、先哲の考え方を手掛かりに考えること等を通じ、自己の考えを広げ深める。
- 「深い学び」… 習得・活用・探究という学びの過程の中で、各教科等の特質に応じた「見方・考え方」を働かせながら、知識を相互に関連付けてより深く理解したり、情報を精査して考えを形成したり、問題を見いだして解決策を考えたり、思いや考えを基に創造したりすることに向かう。

2 「造形的な見方・考え方」を働かせとは（小学校学習指導要領解説 図画工作編）

感性や想像力を働かせ、対象や事象を、形や色などの造形的な視点で捉え、自分のイメージをもちながら（自分としての）意味や価値をつくりだすこと。 ※（ ）は、中学校

3 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善例

つかむ	<ul style="list-style-type: none"> 自分の感じたこと、途中の作品などから、やりたいことを話す。 表現方法やポイントを理解する。 	<p>【主体的な学び】</p> <ul style="list-style-type: none"> 生活体験の他、材料や用具、表現方法から一人一人が自分の表したいもの（主題）を見付けられるようにする。 視覚資料を活用し、「大きさ」「位置」「太さ」「方向」などといった、課題解決につながる表現の工夫のポイント（造形の要素）、または、鑑賞するための視点を示し、児童の気付きから課題化を図る。 示範を行い、安全で効果的な道具の使い方を示すとともに課題解決のための見通しがもてるようにする。 机間巡視により、見付けた本時の課題を基にした、児童の独創的な発想や表現を価値付け、紹介する。 「どんなことが楽しかったのか」を具体的に聞き、児童の学びを把握するとともに、次時の意欲につながる「がんばってやってよかった」という実感をもてるようにする。 	<p>（対話的な学び）</p> <ul style="list-style-type: none"> 材料、場所などとの出会わせ方を工夫することで色や形等との自然な対話ができるようにする。 児童が造形的な見方・考え方を自在に働かせることができるような資料を提示し、課題発見につながる驚き、感動、疑問、憧れなどといった感情を伴った声が自然に生まれるようにする。 「作品を転がして遊びながら形や色を確かめられる坂を教室の中央に準備する」「製作途中の帽子をかぶって確かめられる鏡を準備する」など、複数の児童が試し確かめる中で、自然な交流が生まれる場を設定する。 材料（素材）や用具の特徴やよさを十分感じ取ることができるよう、それらに十分触れたり、試したりする時間を設定する。 本時の育成を目指した資質・能力に関わってよさの見られた児童の表現を紹介し、自分と比較できるようにする。 	<p>（深い学び）</p> <ul style="list-style-type: none"> 集めた材料を、児童と共に形と色の種類別に分けることで、素材の形や色への見方・感じ方を深める。 児童が、造形的な見方・考え方を自在に働かせることの支えになる五感に働きかけるような資料を提示する。 うまくいかなかった場合も、壊してつくりなおす姿を価値付け、「つくり、つくりかえ、つくる」ことでより楽しいものができることを実感できるようにする。 作品（表現）を相互に鑑賞できるようにし、「身近な材料でこんな面白いものができるんだ」「次はもっと～したい」「家でも何かつくってみたい」という意識を生み出す。 活動内容のみならず、表現の工夫のポイントなど、課題で重点とした点を基に振り返りを行うことで、本時身に付いた資質・能力を確認し、伸びを実感できるようにする。
深める	<ul style="list-style-type: none"> 個人課題を追究する。 友達のアドバイスや様々な資料をもとに試行錯誤し、表現を深め、広めていく。 仲間の考えや表現のよさに気付く。 さらなる個人追究をする。 			
まとめる	<ul style="list-style-type: none"> 本時での自己の変容や苦勞したこと、困ったことを振り返る。 次時の見通しをもつ。 			

「知識及び技能」の習得、「思考力、判断力、表現力等」の育成、「学びに向かう力、人間性等」の涵養